



2023年3月31日

各 位

上場会社名 株式会社レゾナック・ホールディングス
コード番号 4004 東証プライム市場
代表者名 代表取締役社長 高橋 秀仁
問合せ先 ブランド・コミュニケーション部長 山田 亜紀子
TEL (03) 5470 - 3235

連結子会社における株式譲渡（孫会社及び曾孫会社の異動）による 日本、アメリカ及び中国診断薬事業の譲渡に関するお知らせ

株式会社レゾナック・ホールディングス（以下、「当社」）の連結子会社である株式会社レゾナック（以下、「REC」）は、RECが直接的又は間接的に保有するミナリスメディカル株式会社（以下、「MMC」）及びMinaris Medical America, Inc.（以下、「MMA」）、MMC、Minaris Medical (Shanghai) Co., Ltd.とあわせて「ミナリスメディカル社」の全発行済株式を、キヤノンメディカルシステムズ株式会社（以下、「キヤノンメディカルシステムズ社」）に譲渡する株式譲渡契約書を本日締結（以下、「本取引」）しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 検討の背景と目的

昭和電工株式会社と昭和電工マテリアルズ株式会社が統合した事業会社RECは、昭和電工マテリアルズ株式会社の前身である旧日立化成株式会社（以下、「旧日立化成」）時代の2018年に診断薬事業の基盤強化を目的として、脂質検査市場において確固たる地位を有するミナリスメディカル社(旧協和メディックス株式会社)を買収しました。買収当時の旧日立化成の既存製品は血液や涙からアレルギーの原因物質などを調べる診断薬を主力としていた一方で、ミナリスメディカル社は、旧日立化成のポートフォリオと補完的な生化学や免疫領域の体外診断薬を手がけており、製品ラインアップの拡充に貢献し、また、旧日立化成のグローバル販売網を活用することで、ミナリスメディカル社製品のグローバル展開を進めるといったシナジーを実現してきました。一方、国内生化学検査は成熟域にあり、グローバルプレイヤーの伸長の影響を受け、従来の診断薬販売を主軸とした成長戦略が描き難くなっていました。マクロ環境も相俟ってミナリスメディカル社の業績は一定の成長に留まりはじめており、当社グループ（当社並びに当社の子会社及び関連会社の総称を意味し、以下同じとします。）傘下において今後の大きな成長や他事業とのシナジーが見込みにくい状況となっていました。

当社グループは、「統合新会社の長期ビジョン(2021~2030)」で示した通り、世界トップクラスの機能性化学メーカーとして、持続可能な社会全体へ貢献することを目指しております。その実現に向けて、継続的にポートフォリオの見直しをはかることで、持続的な成長を実現することを目標としています。

こうしたビジョンに基づき、最適な経営資源の配分及び事業ポートフォリオマネジメントを検討する中で、ミナリスメディカル社の在り方について、あらゆる選択肢を慎重に検討いたしました。その結

果、ミナリスメディカル社の成長を支える戦略適合性／ベストオーナーの観点から、国内屈指の検査装置メーカーであるキヤノンメディカルシステムズ社のもとで事業拡大を図ることが、ミナリスメディカル社の取引先様、同社の関連製品を日々ご利用いただいている最終消費者の皆様及び同社に従事する従業員を含む各ステークホルダーにとって最適であると判断し、キヤノンメディカルシステムズ社との間で本取引を推進することを決定いたしました。

国内外における診断薬市場の競争環境が変化している現在、キヤノンメディカルシステムズ社は、国内屈指の検査装置メーカーであり、同社が保有する自動分析装置領域における技術とのシナジーにより、高い付加価値の創出が期待できると判断しました。また、ミナリスメディカル社が蓄積してきた技術力、商品力、顧客基盤についても、同社より高く評価していただきました。

本取引の実現により、ミナリスメディカル社がキヤノンメディカルシステムズ社と一体となって積極的かつ戦略的に事業を推進していくことにより、更なる成長と競争力の強化が実現できるものと確信しています。

なお、本取引内容の実行完了により、ミナリスメディカル社は当社の連結対象外となります。

2. 異動する孫会社（ミナリスメディカル株式会社）の概要

(1) 名 称	ミナリスメディカル株式会社		
(2) 所 在 地	東京都中央区晴海1-8-10 晴海トリトンスクエア X-4F		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 金成 直希		
(4) 事 業 内 容	体外診断用医薬品（診断薬）の開発・製造・販売 自動分析装置の開発・製造・販売		
(5) 資 本 金	4億5千万円		
(6) 設 立 年	1981年		
(7) 大株主及び持株比率	株式会社レゾナック（100%）		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません	
	人 的 関 係	該当事項はありません	
	取 引 関 係	該当事項はありません	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決 算 期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
純 資 産	3,177百万円	3,521百万円	4,576百万円
総 資 産	10,070百万円	10,701百万円	11,829百万円
1株当たり純資産	5,971円	6,618円	8,602円
売 上 高	8,571百万円	12,285百万円	12,772百万円
営 業 利 益	167百万円	481百万円	1,482百万円
経 常 利 益	161百万円	448百万円	1,446百万円
当 期 純 利 益	114百万円	344百万円	1,055百万円
1株当たり当期純利益	215円	647円	1,984円

注) 2020年12月期は、決算期変更に伴い、2020年4月～12月までの9ヵ月間の数字となっております。

(参考) 異動する曾孫会社 (Minaris Medical America, Inc.) の概要

(1) 名 称	Minaris Medical America, Inc.
(2) 所 在 地	630 Clyde Ct., Mountain View, CA, US
(3) 代表者の役職・氏名	取締役社長兼 CEO 島邊 暢飛
(4) 事 業 内 容	診断薬の開発・製造・販売 自動分析装置の製造・販売
(5) 資 本 金	11.8 百万米ドル
(6) 設 立 年	1979 年
(7) 大株主及び持株比率	Resonac America, Inc(100%)*株式会社レゾナック 100%子会社

(参考) 異動する曾孫会社 (Minaris Medical (Shanghai) Co., Ltd.) の概要

(1) 名 称	Minaris Medical (Shanghai) Co., Ltd.
(2) 所 在 地	SUITE 30 E1, JUNYAO INTERNATIONAL PLAZA789,SHANGHAI
(3) 代表者の役職・氏名	董事長 松澤 勘文
(4) 事 業 内 容	体外診断用医薬品 (診断薬) の輸入販売
(5) 資 本 金	5.7 百万人民元
(6) 設 立 年	2011 年
(7) 大株主及び持株比率	ミナリスメディカル株式会社(100%)

3. 株式取得の相手先 (キヤノンメディカルシステムズ株式会社) の概要

(1) 名 称	キヤノンメディカルシステムズ株式会社	
(2) 所 在 地	栃木県大田原市下石上 1385 番地	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 瀧口 登志夫	
(4) 事 業 内 容	医療用機器の開発、製造、販売、技術サービス	
(5) 資 本 金	207 億円	
(6) 設 立 年	1930 年	
(7) 大株主及び持株比率	キヤノン株式会社 100%	
(8) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません
	人 的 関 係	該当事項はありません
	取 引 関 係	該当事項はありません

4. 今後の見通し

本取引内容の実行完了により、ミナリスメディカル社は当社の連結の範囲より除外されます。また本取引内容の実行完了により、2023年12月期の連結決算において事業譲渡益として一定額の特別利益の計上を見込んでおりますが、詳細は現在精査中です。

以 上